

地方創生推進交付金事業内容及び事業経費内訳(令和3年度)

資料4

事業主体	区分	事業名及び実施概要	実績額	事業経費内訳	(単位:円)	総合戦略頁			
安芸太田町	繰越事業	【特別名勝「三段峡」と「食」のブランディングプロジェクト】 三段峡のもつ学術的な価値を再評価し、生物多様性の保全活動(エコツーリズム)の開発や、「食」ブランドの開発による観光産業等の活性化による地域経済の拡大を目標とすることとしており、これらの事業の基盤構築を進めてきた。 令和3年度は令和2年度から15,150千円繰越し、コロナの影響により令和2年度中の実施が困難であった、エコツーリズム推進にかかる調査および協議や道の駅周辺整備基本計画の策定について、遠隔によるテレビ会議などを活用して実施した。	14,798,000	1 特別名勝「三段峡」流域の資源活用事業 ・三段峡・太田川流域エコツーリズム推進事業(委託料)	1,650,000	P.16			
				2 道の駅周辺再整備基本計画策定 ・道の駅周辺再整備基本計画策定(委託料)	13,148,000	P.9			
					14,798,000				
	現年事業	【マイナンバーカードを基盤とした安芸太田町DX推進プロジェクト】 令和2年度から「デジタル専門人材派遣制度(内閣府地方創生推進事務局/内閣官房まち・ひと・しごと創生本部)」を活用して、現状分析、地域課題の整理等を実施してきた。 本事業では、これら現状と課題をもとに、本町に適したデジタル化の活用に向けて、「安芸太田町DX推進計画」を策定し、官民データ活用及びEBPM(Evidence Based Policy Making: 根拠にもとづく政策形成)に資する地域システムの創出をめざし、行政手続きのオンライン化や官民データの活用等を実現させる地域DXに取り組めるよう、デジタル化の実装をはかる。	6,000,000	1 安芸太田町DX推進計画の作成 ・安芸太田町DX推進計画の策定支援(委託料)	3,000,000	P.32			
				2 安芸太田町DX基本設計書の作成 ・安芸太田町DX基本設計の作成支援(委託料)	3,000,000				
								6,000,000	
				【広島県立加計高校支援事業プロジェクト】 一昨年度から継続して探究の時間を活用し、特産品等を利用した商品やサービスの開発に取り組んでおり、マーケティングから開発、販売までを生徒自身が研究して取り組めるプログラムを実践している。新たな特産品として、令和2年度から資材の提供を受けるなど、企業からの支援も取込んだ菊芋の栽培を始め、令和3年度中に菊芋クッキーなどの加工品の販売実績を残した。今後も継続した特産品開発等の研究を行うことで、生徒の起業マインドを養う。	4,400,000	1 広島県立加計高校支援事業プロジェクト ・「ローカルビジネス創出コーディネーター」業務(委託料)	4,400,000	P.18	
現年事業				【安芸太田町インバウンド促進プロジェクト】 令和3年度は、「あきおたインバウンドアクションプラン2020」の取組みに沿った市場調査およびインバウンド受入にかかる基盤整備事業を実施した。 ターゲット国である台湾およびオーストラリアを対象とした市場調査において、専門家等のコーディネートを受けて、アフターコロナに向けたインバウンド誘客ができるよう、インバウンドデータソリューションを活用した市場調査を行うことで、より効果的なプロモーションが実施できるよう情報を整理した。 併せてアフターコロナにインバウンドの受入れがスムーズに実施できるよう、HPやデジタルコンテンツ等を多言語化し、来町前および来町してから外国人が言語の壁に戸惑うことが無いよう、基盤の整備に取り組んだ。 人工降雪機の設置については、令和3年度は第3期工事として、主に「立山コース」をカバーする、給水装置及びスティック型降雪機(5機)を設置した。	63,140,000	1 あきおたインバウンドターゲット国市場調査事業 ・ターゲット国(台湾)を対象とした市場調査(補助金) ・ターゲット国(オセアニア)を対象とした市場調査(補助金)	3,800,000 3,600,000	P.14-15	
	2 インバウンド誘客基盤整備事業 ・HP多言語化整備(補助金) ・アクティブ・文化体験型コンテンツ動画の制作(補助金) ・町内看板等サインの多言語化整備プランの作成(補助金) ・インバウンド向け満足度調査(補助金)	8,740,000 2,800,000 4,500,000 2,500,000							
						25,940,000			
			37,200,000	1 恐羅漢スノーパーク人工降雪機整備事業(第3期)(補助金) ・降雪機設置(スティック型5機)	37,200,000	P.14-15			
				37,200,000					
		【安芸太田町人材育成・交流拠点整備計画】 本事業は、加計高等学校を軸とし、地域資源の活用や地域課題の解決を図る人材育成拠点として「安芸太田町人材育成・交流センター」を整備する。 この施設は、加計高校生徒が、地域住民や地域の事業者等と交流する環境や、国際交流の拠点機能を果たしながら、居住機能と学習サポート機能により、地域に新たな価値を創出する取組を行う。 併せて、加計高等学校と地域が連携した特色あるカリキュラムである「ローカルビジネス創出プログラム」「国際交流プログラム」を深化させることで、高校魅力化の取組をさらに加速し、それらを地域の事業者や住民にも波及させる。 また当該拠点は公募により愛称を「黎明館」(れいめいかん)とした。施設は鉄骨造り2階建てで、計60室の居室、交流スペース兼食堂や、学習スペースを設けた。	395,548,000	1 安芸太田町人材育成・交流拠点整備 ・安芸太田町人材育成・交流拠点整備	395,548,000	P.18			
				395,548,000					
			483,886,000						